



ボランティアと協働で公園づくり

群馬県立敷島公園パークマネジメントJV

去る11月22日(金)、県立敷島公園管理事務所1階多目的室にて「第1回ボランティア交流会」を実施いたしました。

県立敷島公園では現在、複数の団体や学生、主婦など様々な分野の総勢約200名近くの方々がボランティア活動を行っています。活動内容は ①園内花植え・②花壇のお手入れ隊・③クリーニング隊・④スポーツイベントのアシストの4つで、各々の団体が、それぞれの時期や内容で個々に活動しています。

今回の交流会は、それぞれが県立敷島公園をはじめ県内各所で行っているボランティア活動の現状や困りごとなどを発表し合い、お互いを知り交流を深める場の提供を目的に行いました。交流を深める事でお互いの特徴や得意分野を知り、今後より効果的により有意義に活動していただく事ができるのではないかと考えたからです。

参加された皆様のお話を伺ってみると、学校での学習支援・学生消防団による清掃活動や消防についての啓蒙活動、スポーツイベントの手伝いや子ども食堂での活動等、活動の幅は広く多岐に渡るものでした。



開会にあたりご挨拶する公園職員



参加者による自己紹介の様子

また、オブザーバーとしてお越しいただいた前橋福祉協議会ボランティアセンターのお話を伺ってみても、昨今のボランティア活動も今まで以上に幅が広がり、フリースクールでの学習支援や子ども食堂等子供に関わるもの・高齢者や身寄りのない方を個別に支援するもの・SDG'Sに関連するものなどが挙げられ、社会の中でのボランティアの需要の多さや分野の広がりを感じました。しかしながら、活動を希望する側と求める側をマッチングする機会が少なく、活動の機会損失が課題になっていることも問題として浮かび上がってきました。

当公園では地域防災をキーワードに、地域とのゆるやかな連携を進めています。話題提供として公園としての今後の課題等をお話したところ、園内防災マップの作成・自衛隊による体験会・地域住民と連携した炊き出し練習会・防災についての勉強会の開催等、嬉しいことに、ボランティアとの協働活動のアイデアが次々と提案されました。まずはこのような会を継続して実施することを前提に、防災マップ作りから手掛けてみましょうと意見が一致しました。

群馬県では2029年に第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会「湯けむり国スポ・全スぽぐんま」が開催されます。当公園でのボランティア活動が、このようなビックイベントに主体的に関わるきっかけになるかもしれません。今回の交流会は最初の一歩にすぎませんが、未来に向けた大いなる一歩となるように、今後も県立敷島公園、そして公園を核とした敷島エリアの地域づくりにボランティア活動の皆さまと共に尽力して参ります。